

キング通信工業株式会社

シルエット見守りセンサ

機器の概要

「起き上がり」「立ち上がり」「はみ出し」、「離床」を区別して検知

シルエット見守りセンサは被介護者のベッド上での「起き上がり」「立ち上がり」「はみ出し」、「離床」の動作をそれぞれ区別して検知し、タブレット端末に異なる音・アイコンと共にシルエット画像でお知らせします。人が目覚めて動き出しベッドから出るまでの一連の動作を分けて検知するため、被介護者の個々のリスクに合わせて、4つの検知方法の中から選択・組み合わせてご使用いただけます。例えばベッドから離れることにリスクのある方であれば「はみ出し」と「離床」の検知を設定、少しの動作にも怪我のリスクのある方には「起き上がり」と「はみ出し」を組み合わせるなどのご使用が考えられます。

シルエット画像により離れた場所から見守りが可能

検知したお知らせはタブレット端末に送られ、シルエット画像にて視覚的に状況を確認できます。お知らせにシルエット画像を使用することで被介護者の服装など個人を特定する情報は含まず、動作状況のみにフォーカスしプライバシーに配慮した製品になります。

シルエット画像は被介護者の状況をリアルタイムに表示し、離れた場所からでもセンサが検知した後の被介護者の様子を確認することができます。夜間など介護者が一人で複数の人を見守らなければならない状況下で複数のお知らせが届いたとしても、お知らせ後の状況を確認していただくことで駆けつけの優先順位の判断に使用していただけます。



1台から導入可能。 居室間の移動も簡単

シルエット見守りセンサは1台から導入が可能です。導入効果の不安や予算の都合によりお試しとして1台から利用したい場合や小規模施設でご使用を考えていらっしゃる方にも導入のハードルを低く抑えてご提供させていただいております。

また被介護者は日により状況が変わることがあるため、状況を見ながら日によって見守りたい方を変えて使用したいケースがあります。センサの固定はブラケットと呼ばれる部品をポールもしくは壁に設置していただくことで、簡単に居室から居室へセンサを移動することができますので、見守りたい方の状況を見ながら日によって簡単に居室を変えて見守りを行っていただけます。



シルエット画像

品番	WOS-114N
TAISコード	01558-000003
寸法 (mm)	116 (H) × 217 (W) × 126 (D) *ブラケット含む
重量 (Kg)	約 0.75 (ACアダプタ含まず)
電源	電源供給 専用 AC アダプタ
	電源電圧 AC100V ± 10V 50/60Hz
	消費電力 AC100V 時 15W
周囲温度	0℃～40℃
LAN 通信速度	10Mbps/100Mbps 1ポート
無線 LAN	無線規格 IEEE802.11b/g/n (Wi-Fi) 2.4GHz
	通信距離 見通せる場所で 100m
取付方法	壁面設置方式
	自立型ポール設置方式 (ポールΦ 26～32mm)
販売価格	300,000円
メンテナンス費用	必要な場合は別途相談
商品紹介 URL	https://www.king-tsushin.co.jp/

検知したシルエット画像を保存 履歴機能による振り返りで情報を共有

シルエット見守りセンサは検知した時間と検知した際のシルエット画像を保存する履歴機能があります。検知時の動作15秒間（前後合計）のシルエット画像を保存し転倒などが起こった際は、その前に何が合ったのか状況を確認する振り返り作業を行うことができます。シルエット画像により視覚的な確認ができるため、複数の介護者同士で同じように状況を把握・共有化でき、その後の原因調査や対応方法についてのご検討に役立てていただくことができます。また施設で使用される場合は被介護者のご家族への説明にもお役立ていただけます。被介護者の転倒や怪我はその後の寝たきりに繋がるためご家族の方は敏感になっていらっしゃるかもしれません。そのようなことを起こさないよう介護職員は常に気を配っていらっしゃいますが、説明が必要となる場面では、転倒等の状況をシルエット画像を確認しながら説明でき、主観的と捉えられやすい口頭での説明に加え、客観的な情報としてご家族に説明・ご理解をいただくために活用いただけます。

また普段の生活の中でも被介護者の生活パターンに気付くツールとして活用が期待できます。例えば夜間になると頻繁に同じ時間帯に「起き上がり」を検知している場合、介護者の気付きに加え、履歴データで確認することで目に見えて被介護者の習慣を把握することができます。加えてシルエット画像で、何か意味があり起き上がっているのか、目が覚めて起き上がっているだけなのかなど様子を確認することで、被介護者がゆっくりお休みいただける環境作りに活用するなど一人一人に合った介護サービスの提供の参考にさせていただきます。

問い合わせ先

キング通信工業株式会社
〒158-0092 東京都世田谷区
野毛 2-6-6
担当者：事業開発課 吉村 真人

HP <https://www.king-tsushin.co.jp>

TEL (03) 3705-8540 mail e-takahashi@king-tsushin.co.jp

機器の導入事例

機器の導入施設

導入施設名

社会福祉法人友愛十字会
特別養護老人ホーム 砧ホーム

所在地

〒157-0073 東京都世田谷区砧 3-9-11

導入時期

平成 29 年 2 月

使用台数

5 台

対象者

5 人 / 5 室

導入に要した費用

約 150 万円 + Wi-Fi 構築費

機器の設置状況・使用状況

機器5台・タブレット端末8台を 導入し見守り

砧ホームではシルエット見守りセンサを5台、タブレット端末8台（iPod touch）を導入いただき見守りを行っていただいています。主に夜間ベッドでお休みになられている利用者が立ち上がりや歩行など怪我の恐れがある動作をとる手前で感知し、怪我の防止に使用しています。

機器の選定理由・導入経緯

機能面・運用面で必要と合致

各メーカーの見守り支援機器をご覧いただいている中で、当社製品が機能面や運用面で必要としているものと合致すると判断していただき導入に至りました。

機器の適用範囲・使用場面

行動の手前で動きを感知 素早い駆け付け対応が可能

砧ホームでは、起き上がり動作はできるが、足について立つことや歩行が難しく転倒の危険性が高い利用者が多くいます。従来のセンサではセンサが反

応した時には利用者が立ち上がっていたり、駆け付けが間に合わずベッドから転落・転倒してしまっていたケースがありました。シルエット見守りセンサはこのような行動の手前で利用者の動きを感知し職員に知らせるため、素早い駆け付け対応ができ怪我を未然に防ぐのに活用いただいています。

また夜間帯は利用者が怪我に繋がる行動が多い反面、職員の人数が少なく一人で複数の利用者を見守っている状況ですが、シルエット見守りセンサはシルエット画像により怪我の恐れのある行動を未然に気付き防ぐことで職員の精神的負担の軽減にも繋がっています。

機器導入施設の声

緊急性が判断でき、不要な訪室が減る

従来のセンサは寝返りなどでもお知らせがくるため、全てにすぐに駆け付けていました。シルエット見守りセンサは状況を確認できるため、ただの寝返りか緊急性のあるものか判断でき不要な訪室が減ってきています。

機器の導入による介護業務の変化

機器導入の効果

利用者に合った生活の改善に繋がる

シルエット画像で離れた場所からでも利用者の様子が確認でき、安心に繋がっている他、現状の様子が把握できることで夜間の介入のタイミングが掴みやすくなり、業務の負担軽減、利用者に合った生活の改善にも繋がっています。

改善点・要望

持ちあるきの端末を一つにしたい

現状は PHS と表示端末を常に持ち歩いているので、持ちあるきの端末を一つにしたいとの要望を伺っています。

機器の導入事例

機器の導入施設

導入施設名

社会福祉法人康和会
特別養護老人ホーム オレンジガーデン

所在地

〒274-0816 千葉県船橋市芝山7-41-2

導入時期

平成29年2月、平成29年6月

使用台数

7台

対象者

7人/7室

導入に要した費用

約210万円 + Wi-Fi 構築費

機器の設置状況・使用状況

居室間のセンサ移動が柔軟に対応できるよう設置

オレンジガーデンでは1階・2階フロアにシルエット見守りセンサ7台とタブレット端末7台を導入いただき見守りを行っています。タブレット端末の内6台は職員の携帯用に小型の端末 (iPod touch)、もう1台は事務仕事中でもご覧いただけるよう大型の端末 (iPad) をカウンターに置き運用しています。他の施設よりも多く端末を導入していただいたことできめ細かく対応できるよう見守り体制を構築していただいています。またポールにセンサを設置していただき居室間のセンサ移動が柔軟に対応できるよう構成していただいています。

機器の選定理由・導入経緯

被介護者の状況をシルエット画像で見ても判断できる点を評価

厚生労働省の事業をきっかけに介護用品を探される中、弊社のシルエット見守りセンサに興味を持っていただきました。弊社にも足を運ばれ実際の機器をご覧いただき品質を確認していただいた上で、シルエット画像で被介護者の状況を見られ状況判断に使用できる点を評価していただき導入に至りました。

次の導入では翌年度に厚生労働省事業の実証研究施設に採択され、その事業のため新たにシルエット見守りセンサを追加で導入していただきました。

機器の適用範囲・使用場面

夜間の対応に運用。 職員の精神的負担の軽減に繋がる

オレンジガーデンでは職員の方に6台の携帯用の小型端末（iPod touch）を常時所持していただき、主に夜間の対応に運用していただいています。夜間は職員の人数が少なく一度に複数の対応が迫られる場面がありましたが、見守りセンサ導入後はシルエット画像により緊急性の判断ができ、職員の精神的な負担の軽減に繋がっています。居室間の見守りセンサの移動ではポールにセンサを設置していただいているため居室間の移動が容易となり、入所や退所などによる利用者の入れ替わりなどに合わせて、その時に見守りが必要な方に使用していただいています。

機器導入施設の声

機器導入で、早い対応が可能に

シルエット見守りセンサを導入したことで、駆けつけが早くできるようになり、日中や夜間の職員負担も軽減できています。

機器の導入による介護業務の変化

機器導入の効果

不要な訪室が減り 利用者の安眠に好影響

一度に複数のお知らせが届いた際、シルエット画像により緊急性・優先度の判断ができるため、それまで誤報などで駆け付けていた不要な訪室を減らし、職員の業務負担の軽減、介護の質の向上の効果ができています。また不要な訪室が減ることで利用者の安眠に好影響を与えています。

機器の導入事例

機器の導入施設

導入施設名

社会福祉法人隆生福祉会 特別養護老人ホーム ゆめあまみ

所在地

〒546-0023 大阪府大阪市東住吉区矢田 7-6-10

導入時期

平成 29 年 6 月

使用台数

5 台

対象者

5 人 / 5 室

導入のための協力機関

大和ハウス工業株式会社

導入に要した費用

約 150 万円 + Wi-Fi 構築費